

第8次大分県医療計画（医師確保計画）の修正案について

第1回地域医療対策協議会でのご意見

項目 (ページ数は資料3新旧対照表)		委員からのご意見	今後の方向性・計画への記載内容 (事務局案)
医師確保計画	現状及び課題 (p2~5)	医師の高齢化が進んでいるので、各地域における医師の年齢構成についても記載をすべきではないか	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に医師の高齢化を追加（資料3_p4） ・医師の年齢の推移や年齢構成の図を追加（資料4_p13、14）
		年齢や診療科など、より細やかな視点で見て欲しい	
		若い医師の派遣が多くなってきたため、指導医が足りない	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に若手医師の増加による指導医の必要性を追加（資料3_p5）
	今後の施策 (p10~11)	地域枠3年目の地域勤務の記載について、3年目が地域勤務必須となると地域枠医師の負担が大きく、この文言を消した方が良いのではないか	<p>変更なし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで医局派遣のなかった病院に配置するための運用であるため継続したい ・評価や改善の検討は行っていきたい
産科・小児科における医師確保計画	小児科における医師確保に関する方針 (p21)	周産期母子医療センターには新生児科医師も必要となることから、産科と同様に周産期母子医療センターの記載を追加して欲しい	<ul style="list-style-type: none"> ・小児科医確保の方針にセンターの体制整備の必要性を記載（資料3_p21） ・新生児手当を記載（資料3_p22） ・周産期の計画においてもセンターの医師確保を図る旨を記載
	共通	産科・小児科以外でも不足する診療科はあるため、そういった診療科についても記載すべきではないか	<p>変更なし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産科・小児科はガイドラインに基づき策定したもの ・不足診療科については地域枠の特定診療科枠の設定によっても解消を図りたい（資料3_p10）
		医師数は増えたが欲しい診療科の医師は増えていない	

小児医療対策協議会・周産期医療協議会でのご意見（産科・小児科における医師確保計画）

項目 (ページ数は新旧対照表)	委員からのご意見	今後の方向性・計画への記載内容 (事務局案)	
小児医療対策協議会(8/31)	小児科医師の確保に向けた 施策(5)①(p22)	小児科は地域枠3年目は地域勤務ではなく基幹病院での勤務をお願いしたい また、できれば指導医がいる所に派遣して欲しい	変更なし ・これまで医局派遣のなかった病院に配置するための運用であるため継続したい ・評価や改善の検討は行っていきたい
	小児科医師の確保に向けた 施策(5)②ア(p22)	専攻医の期間中は小児科指導医による適切な指導が行われるよう勤務先を配慮することを加筆して欲しい	変更なし ・配置先については指導医も含め各医局と調整したい
	小児科医師の確保に向けた 施策(5)⑤(p23)	子育て支援については、女性医師に限定せず、男性も必要ではないか	・「子育て医師等支援」に変更(産科も同様) (資料3_p18、p23)
	全般	現状、休日当番医や夜間の体制(別府市)があり、負担が大きい。過労に陥らないようにして欲しい	・勤務環境の現状に休日・夜間当番医の状況を記載(資料3_p21)
	その他	小児科医を増やすためには、早い段階からの人材育成が必要で、高校生や大学生の体験研修や研修医への小児科部門のレクチャーなどを行って欲しい。 他県の大学にいる大分県出身者へのアプローチやインセンティブの改善、タスクシフトの手助けなどがあると良い	変更なし ・大学等と連携し、いただいたご意見を参考に施策に取り組むこととしたい
周産期医療協議会(9/5)	今後の施策①(p10)	地域枠3年目の地域勤務の記載について、3年目が地域勤務必須となると負担が大きく、この文言を消した方が良いのではないか	変更なし ・これまで医局派遣のなかった病院に配置するための運用であるため継続したい ・評価や改善の検討は行っていきたい
	小児科における医師確保に関する方針 (p21)	周産期母子医療センターの新生児科医師確保について記載して欲しい 個別にターゲットを絞った確保の方策も必要ではないか	・小児科医確保の方針に新生児科医師確保の必要性を記載(資料3_p21) ・新生児手当を記載(資料3_p22)